



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和2年2月14日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

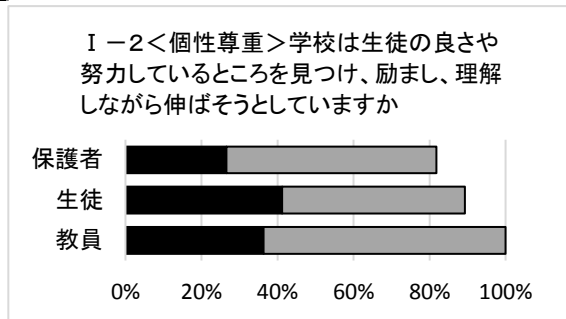
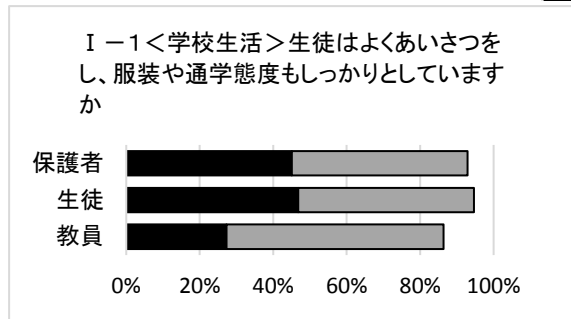
令和2年度に向けて

校長 小川 高弘

2学期末には、南中の教育活動改善のためのアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。昨年度に引き続き、保護者・生徒・教員に同じ項目でアンケートを実施し、それぞれの立場から見る南中の教育活動について、三者の評価を比較しました。同じ活動に関しても、それぞれの立場で感じる事、見える事に違いが表れてきています。保護者の自由記述に、「学校の様子がよくわからないため、厳しめの評価をした。」というご意見がありました。「学校に来る機会が少ない」「子供が学校の話をしていない」などの理由もあると思いますが、生徒・教員に比べ、保護者の肯定的評価が低いものにつきましては、改善策及び保護者への周知方法について検討していきます。また、保護者からの「自由記述」についての回答もあわせて記載しました。全てのご意見・ご要望にはお答えできていませんが、次年度以降の教育活動に生かしていきます。

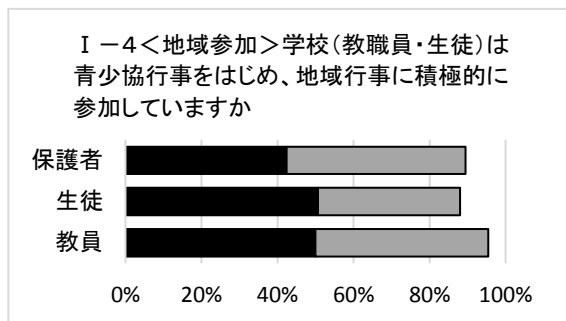
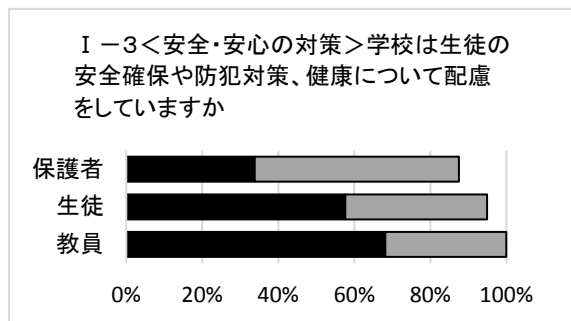
アンケートを集計しましたグラフは、紙面の都合上、「そう思う」「ややそう思う」の肯定的評価のみを示しました。黒い棒グラフが「そう思う」、灰色の棒グラフが「ややそう思う」を表しています。2本を足したものが肯定的評価であり、100%に足らない部分が否定的評価となっていますので、グラフが右に長いほど肯定的評価が多いことになります。

■ そう思う ■ ややそう思う



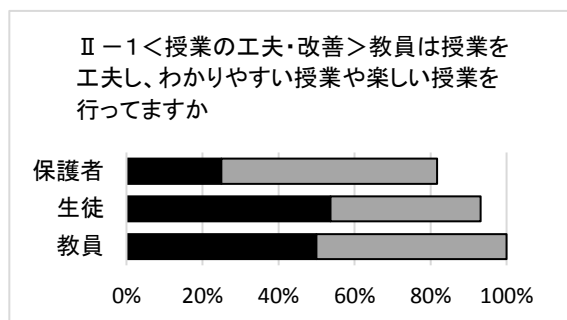
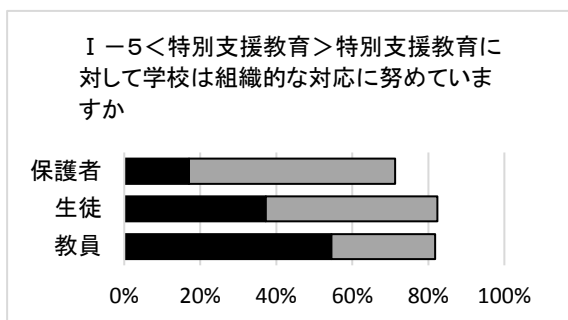
<学校生活> 服装の乱れはなく、日頃の生徒の落ち着いた様子が表れています。あいさつについて、外部からの来校者からは高評価をいただいています。保護者から90%を超える高評価を得ていますが、「もっと挨拶を」という意見もありました。「あいさつ運動」を充実させていきます。

<個性尊重> 教員に比べて保護者から低く評価されています。日常的に生徒への声かけを増やし、保護者・生徒に伝わるような活動を目指します。



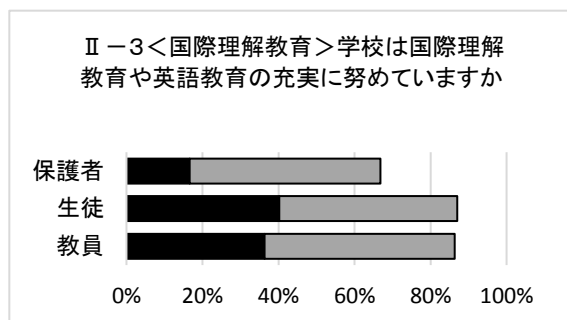
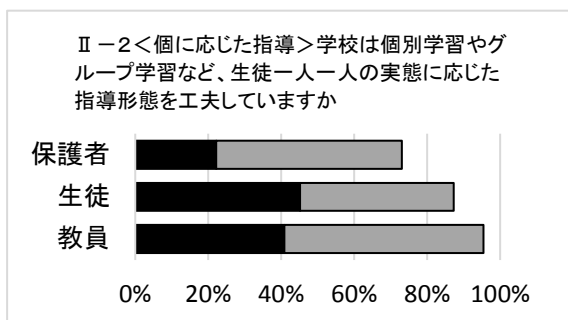
＜安全・安心の対策＞ 保護者の「そう思う」が低い評価です。最終下校時刻についてご意見をいただきましたが、放課後の活動の確保にご理解ください。避難訓練は、時間や避難経路など、毎月条件を変えて実施しています。感染症の予防に、うがい・手洗いの励行などを常に推奨していきます。内容や様子など、保護者・地域にお伝えしていきます。

＜地域参加＞ 青少協や児童館の行事に多くの生徒が参加しています。部活動単位よりも自主的な参加が増えてきています。上級生から下級生に引き継いでいけるよう参加を勧めていきます。



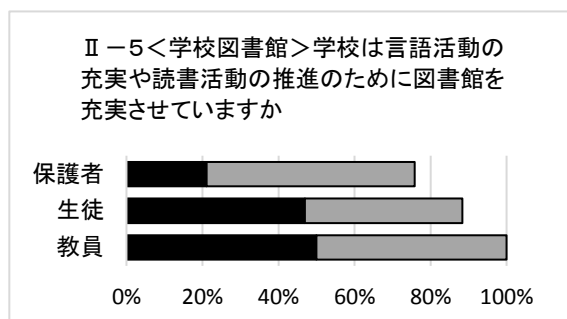
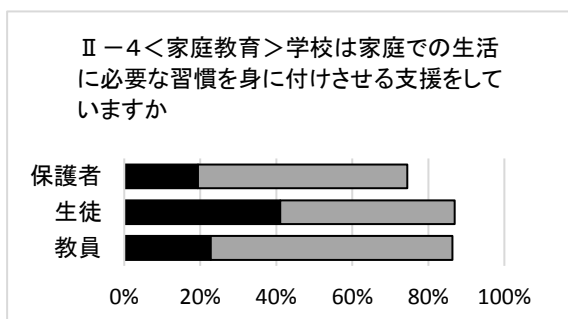
＜特別支援教育＞ 特別な支援を必要としている生徒に対して、生徒の把握と適切な支援に努めていきます。校内で行われている特別支援教育について、保護者に今以上のご理解をいただけるよう取り組んでいきます。

＜授業の工夫・改善＞ 教員がそれぞれ指導方法の工夫・改善に努めています。生徒の肯定的評価は93%を超えています。生徒の学力向上のために、授業改善に努め、わかりやすい授業を実施します。



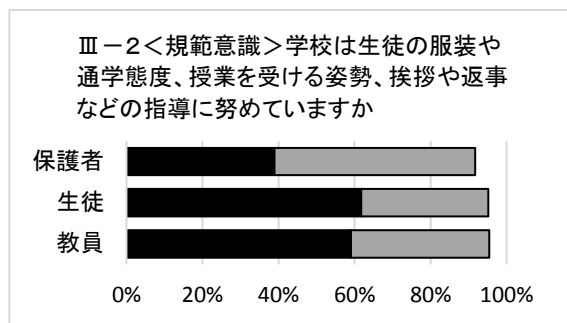
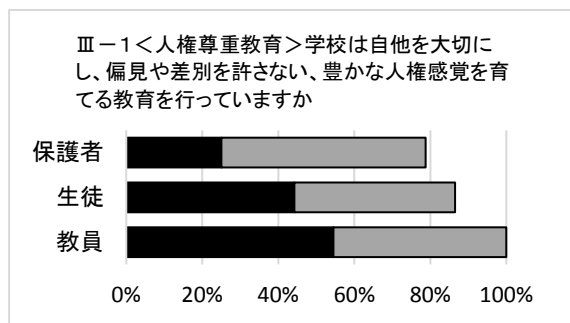
＜個に応じた指導＞ 数学の習熟度別指導や少人数での話し合い活動を各教科で取り入れています。定期考査前の放課後学習教室を充実させるように検討しています。

＜国際理解教育＞ ノースカロライナ州視察団との交流は、生徒の英語学習に良い刺激となりました。英語検定の受験者数も年々増加しています。



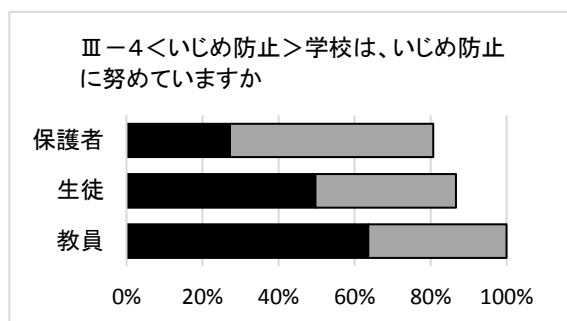
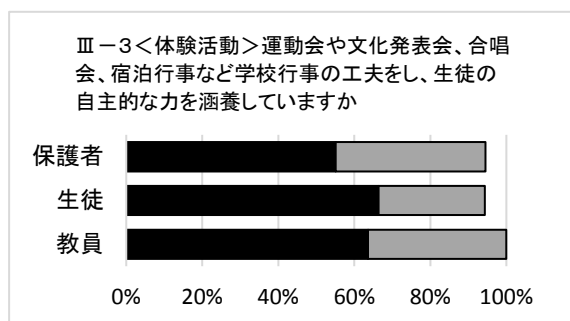
＜家庭教育＞ 家庭学習の習慣は、一部の生徒を除いてまだまだ不十分です。定期考査前の取組が、他の時期にも継続するよう支援します。学校と家庭が連携して取り組んでいきます。

＜学校図書館＞ 毎年、図書の新刊を購入しています。来年度も朝読書以外に、年に2回の読書週間など読書に親しむ機会を設定します。



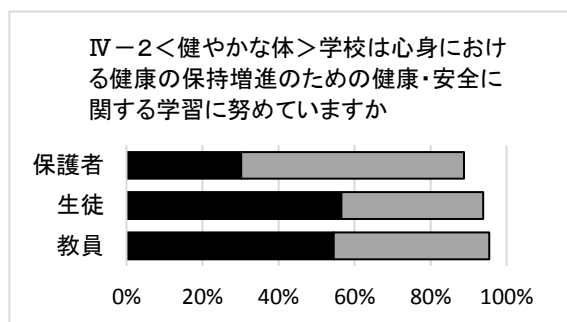
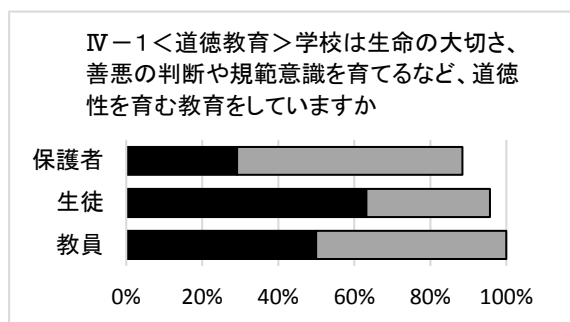
＜人権尊重教育＞ 「特別の教科 道徳」を中心に、すべての教育活動の場面において、人権感覚を育てる教育に取り組んでいます。

＜規範意識＞ 生徒の規範意識は高く、95%以上の高評価です。ルールやマナーの遵守について、今後も考える機会を設けていきます。



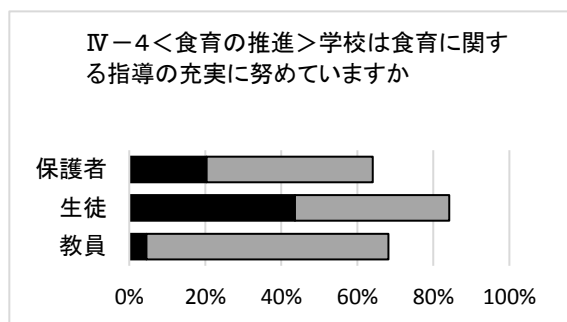
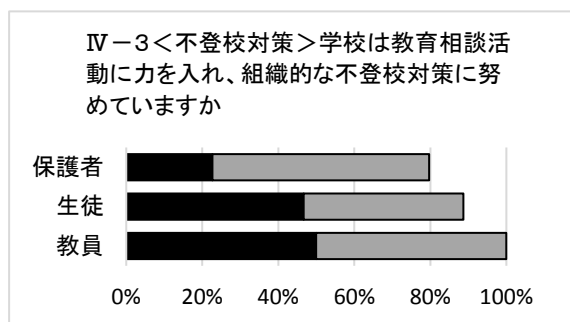
＜体験活動＞ 三者ともに「そう思う」が高評価です。保護者に参観いただく機会も多く、実行委員を中心とした、生徒の主体的な活動が多く行われ、南中の特色の一つです。

＜いじめ防止＞ 毎学期の生活アンケートだけでなく、生徒と一緒に過ごす時間を重視しています。保護者との連携を重視し、未然防止・早期発見・早期解決に全教職員で取り組みます。



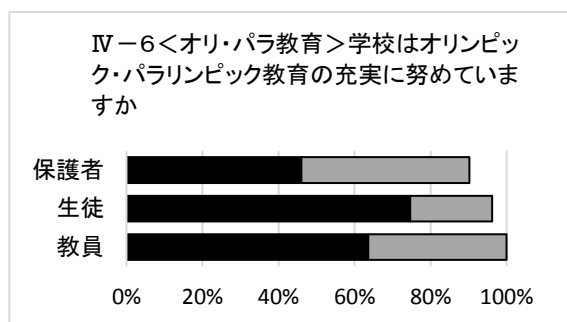
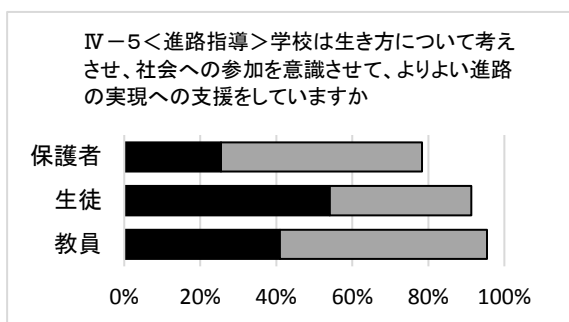
＜道徳教育＞ 生徒の63%が「そう思う」と評価しています。今年度から「特別の教科 道徳」となり、教科書を使用し、年度末には評価を行います。

＜健やかな体＞ 南中の生徒の体格は、東京都平均とほぼ同じです。保健だよりや保健体育で、健康の保持増進に努めていきます。



＜不登校対策＞ スクールカウンセラーを活用し、教育相談の充実に取り組んでいます。不登校生徒の減少が来年度の課題です。保護者・生徒の評価が昨年度より上がりました。

＜食育の推進＞ 保護者から「ランチの時間が短い」というご意見をいただいています。教員の食育への取組が課題です。



＜進路指導＞ 1年生で職業調べ、2年生で職場体験、3年生の進路選択と学年ごとにキャリア教育に取り組んでいます。

＜オリ・パラ教育＞ 三者ともに高評価です。今年度は「豊かな国際感覚」、「障害者理解」にも取り組みました。これまでの取組を生かして、東京2020大会の本番を迎えます。

＜その他＞ 自由記述に対して

- ・1学年の理科と英語の進度に遅れが出ている。

英語に関しては年間指導計画通りです。理科は多少の遅れが見られますので、年度末に向けて調整します。

- ・吹奏楽部を開設してほしい。

部活動の新設は、施設・備品・顧問の関係で行う予定はありません。

- ・通学リュックが重い。

「必ず持って帰るもの」の見直しをしています。教室内のロッカーの容量も少なく、置いていく量にも限界があります。

- ・アンケートの記名は必要ない。

アンケートの信頼性を高めるために、記名をお願いしています。

- ・ツブブロック（髪型）がダメな意味が分からない。

必要以上に手間をかけずに、進路等の面接にも対応できる自然な髪形を指導しています。

- ・昼食時間が短い。

昼食後の休憩時間、放課後の諸活動の時間の確保のために、現在の時程を設定しています。

- ・持久走大会終了の理由が知りたい。

生徒の負担軽減のために行事の精選を検討してきました。放課後の練習時間の確保が難しい、交通量が多くコースの安全が確保できない、多数のPTA協力員が必要、地域住民からの苦情などの理由で、来年度から実施しないこととしました。

- ・スクールカウンセラーとの面談を安心して予約できない。

担任だけでなく、管理職を含めどの教員に声をかけていただいても予約ができます。スクールカウンセラーは週に1日の勤務のため、予約表は職員室で管理しています。カウンセラーの勤務日に、直接。カウンセラーに予約をすることもできます。

- ・1・2年の三者面談を2学期末にも実施してほしい。

来年度は、12月に1・2年生の面談希望者についての実施を検討中です。